

Concert Series



仲道郁代©Kiyotaka Saito

仲道郁代 スペシャル・コンサート ～folkハルト・シュトイデ(バイオリン)を迎えて～

ヤマハホール・コンサート・シリーズに度々登場し名演を重ねてきた、
人気、実力ともに日本を代表するピアニスト、仲道郁代が、10周年の祝祭に名曲をお贈りします。
共演に迎えるのは、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターとして、
またソリスト、室内楽奏者としても世界的に活躍するバイオリニスト、folkハルト・シュトイデ。
この贅沢な共演を、どうぞお聴き逃しなく！

仲道郁代(ピアノ)

folkハルト・シュトイデ(バイオリン)

L.v. ベートーヴェン／バイオリン・ソナタ 第7番 ハ短調 Op.30-2

ピアノ・ソナタ 第21番 ハ長調「ワルトシュタイン」Op.53

C. シューマン／3つのロマンス Op.22 より 第2番、第3番

R. シューマン／幻想小曲集 Op.12 より

バイオリン・ソナタ 第1番 イ短調 Op.105

2020

1/13 (月・祝) 14:00開演
(13:30開場) ヤマハホール

2019/8/24(土)前売開始

チケット料金(全席指定) 6,000円

チケット取扱い

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:161-055] <https://pia.jp/t/>

ヤマハ銀座ビルインフォメーションカウンター(ヤマハ銀座ビル1階)

主催/ヤマハ株式会社 <https://www.yamahaginza.com/hall/>

 **YAMAHA**
Make Waves

※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※チケット料金には消費税が含まれております。

仲道郁代 スペシャル・コンサート ～folkハルト・シュトイデ(バイオリン)を迎えて～



©Kiyotaka Saito

仲道郁代 Ikuyo Nakamichi (ピアノ)

4歳からピアノを始める。桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、増沢賞を受賞。文化庁在外研修員としてミュンヘン国立音楽大学に留学。ジュネーブ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位メンデルスゾーン賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位と受賞を重ね、以後ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動を開始。1988年に村松賞、93年にモービル音楽奨励賞を受賞。

古典からロマン派まで幅広いレパートリーを持ち、これまでに日本の主要オーケストラとの共演はもとより、海外のオーケストラとの共演も数多く、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活動している。

これまでにサラステ指揮フィンランド放送交響楽団、マゼール指揮ピッツバーク交響楽団、バイエルン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団(ECO)、フリーベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団などのソリストとして迎えられ高い評価を得ている。また、99年にはカーネギーホールでリサイタル・デビュー、2001年にはサンクトペテルブルグ、ベルリン・フィルハーモニーホールでコンチェルト・デビュー。05年には、英国チャールズ皇太子夫妻ご臨席のもとウィンザー城で行われたイギリス室内管弦楽団(ECO)主催の「結婚祝祭コンサート」に出演し絶賛された。室内楽の名手との共演も積極的に行っている。CDはソニー・ミュージックジャパンと専属契約を結び、レコード・アカデミー賞を含む「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全集」、「モーツァルト:ピアノ・ソナタ全集」、「シューマン・ファンタジー」、古楽器での録音など多数リリースしている。

著作には『ピアノの名器と名曲』『ショパン 鍵盤のミステリー』『ベートーヴェン 鍵盤の宇宙』(ナツメ社)、『ピアニスト

はおもしろい』(春秋社)などがある。

2017/2018 シーズンより、ベートーヴェン没後200周年の2027年に向け、「仲道郁代 Road to 2027 プロジェクト」をスタートし、リサイタルシリーズを展開している。

一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。



folkハルト・シュトイデ Volkhard Steude (バイオリン)

1971年ライプツィヒ生まれ。5歳より東ドイツ(当時)ブランデンブルク州コトブスの音楽学校でヴァイオリンを学ぶ。87年に東ドイツのジュニア向けコンクールで第2位獲得。88年からベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学にてヨアヒム・シュルツとヴェルナー・シュルツ教授の下で学び始める。国際コンクールで受賞を重ねる。

93年にはグスタフ・マーラー・ユージェントオーケストラの第1コンサートマスターになる。94年3月にベルリンの大学でディプローム取得の後、ウィーンに移り、アルフレート・シュタール教授の下で更に研鑽を積む。

94年11月にはウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに弱冠23歳で就任。更に2000年からはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスターを務めている。日本にはトヨタ自動車主催による『ウィーン・プレミアム・コンサート』のコンサートマスターとしても度々来日しており、多くのファンを獲得している。

また、ウィーン・フィルでは、ジュゼッペ・シノーポリやダニエル・バレンボイムなどの指揮によりソリストとしても共演しているほか、ヨーロッパと日本で数多くのソロ活動を展開。(ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲と三重協奏曲、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲ホ短調と二重協奏曲ニ短調、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲イ長調とニ長調、シンフォニア・コンチェルトタンテ、シベリウスのヴァイオリン協奏曲、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲など。)その多くが放送用にライブ録音され、またCDとしてリリースされている。

室内楽にも熱心に取り組んでおり、02年からはウィーン・フィルのメンバーで構成される室内楽アンサンブル、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンのコンサートマスターも務めた。また同じく02年にシュトイデ弦楽四重奏団が結成され、ウィーン楽友協会

で定期演奏会を開催するほか、ヨーロッパ内及び日本で度々ツアーを行うなど、その活動は非常に注目を集めた。

使用楽器は1718年製のアントニウス・ストラディヴァリウス(ヴィオッティ、ロゼらがかつて所有)で、オーストリア国立銀行より貸与されている。

2016年4月には広島交響楽団よりミュージック・パートナーの称号を授与された。

ヤマハホール

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14 03-3572-3139(10:00~18:00/ 平日のみ)

●交通のご案内

東京メトロ銀座線/丸ノ内線/日比谷線「銀座」駅A3出口より徒歩4分

都営地下鉄浅草線「新橋」駅、「東銀座」駅より徒歩7分

JR線「新橋」駅より徒歩7分

ヤマハホール公演情報メールマガジン配信中!(不定期)

ご登録はヤマハホールHP又は、QRコードよりお願いいたします。

<https://www.yamahaginza.com/hall/>



ヤマハホール公式 Facebookページ

<https://www.facebook.com/yamahahall>



Like 「いいね!」ボタンをクリックをお願いします。

